



「もえぎの会」の発展を願って

目黒区議会

議長 今井れい子



「もえぎの会」の皆様、こんにちは。目黒区議会の議長の今井れい子です。今年の夏は記録的な猛暑が続き、熱中症で体調を崩された方なども多く、本当に暑い夏でした。焼き菓子やパンを作る作業場では、焼きたての美味しいお菓子も作業に従事される方にとっては大変だったと思います。今年のような猛暑は地球温暖化が原因とも言われておりますが、地球環境を考えていくには、私たち一人ひとりの行動が大切と実感した夏でした。

「もえぎの会」の名称が春の力強い若芽の勢いから、出発し発展することを願って命名されたと伺いました。その思いは、わが子の成長を思い、力強く成長を願う親の気持ちを素直に表したものだと思います。

五本木小学校「ゆりのき学級」の父母会から出発した会が主体となり、作り上げた「しいの実社」はその実践的な活動の成果として、現在では地域における通所授産施設として高く評価されております。

また、「しいの実社」の作るクッキーやパン、工芸品はその高い品質に多くの方々から支持され、愛用されています。私も、「しいの実社」のクッキーはファンの一人です。

皆様方の団体を取巻く環境は、2006年に制定されました障害者自立支援法により、障害者の自立支援等の施策が講じられたところですが、施設事業者におかれましてはご苦労されておられる面もあるかと思えます。皆様が安心して事業運営を行える環境を整えていくことも大切に思います。

本区の財政状況は、世界的な経済不振の影響から、大幅な減収となっており、今後も厳しい状況が見込まれております。こうした状況にはありますが、現在、旧清水小売市場跡に上目黒と中央町福祉工房を統合する新たな施設の建設を行っており、来春には完成される予定です。

この5月に入居されましたスマイルプラザをはじめ、皆さんの夢や希望を実現していく就労支援施設等が着々と整備されていきます。

現下の厳しい経済環境の中、運営面におきましては様々な課題があると思いますが、皆様の掲げる「自助自立」の目標のもと、困難を乗り越え、ますます発展されますことを願っております。

しいの実祭のお知らせとお願い

今年は、11月27日(土)に開催いたします。スタッフ・社員一同お待ちしておりますので、ぜひ、お誘い合わせの上、お越しください。

恒例の後援会のバザーも企画しておりますので、献品に、ご協力をお願いいたします。11月19日(金)までに、ご連絡をお願いします。ただし、下記のものはお預かりできませんのでご了承ください。

- ・ 賞味期限の切れた食品
- ・ 古本・日本人形の類

(献品の連絡先： しいの実社 ☎03-5724-7153岡田なおこ)

しいの実社宿泊研修旅行

9月9日～10日と16日～17日の2回に分かれてバスで行きました。行先は両方同じく河口湖です。

仕事での様子とまた違った表情も見られ、リラックスして旅行を楽しんで来ました。年に1度のイベントで新たに楽しい思い出ができました。

1グループ：当日は前日までの台風の影響により、急遽予定していたルートを変更することになり、慌しいスタートとなりました。1日目は富士サファリパークでした。大きな動物を間近で見たり、動物たちへのえさやりをしたりして、貴重な経験をしました。

2日目は晴天で富士山もきれいに見え、ロープウェイや遊覧船に乗ったり、ソフトクリームを食べたり、大満足でした。

2グループ：この回の1日目は雨。サファリパークで動物が見られるだろうか…？とやきもきながらのスタートでした。雨は1日降り続きましたが、サファリパークではたくさんの動物を見ることができました。外の雨を吹き飛ばすように、バスの中は盛り上がっていました。

2日目はさわやかな秋晴れ。小グループに分かれて、猿回しの見学や散歩、いやしの里でのリラックスタイムなどなど。思い思いの時間を過ごしました。

今年も、後援会のご支援により有意義な体験をすることができました。ありがとうございました。

サファリパーク



かちかち山



1グループ集合写真



猿回し劇場



ホテルでの夕食



河口湖にて



いやしの里



スマイルプラザ中央町

目黒区で準備していただきましたスマイルプラザ中央町(旧目黒第六中学校跡地)で、6月から製パン作業を開始しました。最初の2カ月はまずは場所に慣れるということに取り組み、8月には正式な就労移行支援事業の認可が下り、本格的な運営の開始となりました。最初は新しい環境になかなか慣れず、道具をどこに片付けたかわからなくなり、みんなで探すということもありました。社員も通所にも慣れてきて、作業の幅もそれぞれ広がりつつあります。

4か月が経ち、現在ではすっかりスマイルプラザにも慣れて、他施設の方たちともお互い挨拶をするようになりました。

花壇にはしいの実社スペースができ、花を植えて毎日交代で手入れをすることが日課になっています。

これからいよいよ本格的に「就労移行」に向けた取り組みをします。まだまだ課題はたくさんありますが、社員やスタッフ一同明るく楽しい現場にしていきたいと思っております。



花壇の手入れ



昼食



しいの実祭

今年も、毎年恒例しいの実祭を開催いたします。

自主製品販売をはじめ、清水町会さんによる模擬店・目黒区内の他施設による販売・バザー・ミニイベントなど盛りだくさんの内容となっております。

年に一度、地域の皆様や関係者の皆様との交流を図ることを目的に開催しております。

ご来場をお待ちしております！

日時：11月27日(土)10:00～14:30

場所：しいの実社

目黒区目黒本町2-7-3

問合せ：03-5724-7153(担当:持田・高木・弓手)



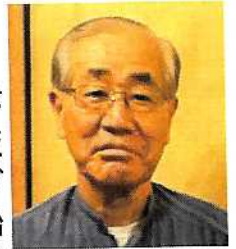
昨年のしいの実祭



秋のイベント販売スケジュール

10月23日(土)	地域福祉のつどい	中目黒GT
10月24日(日)	中目黒公園祭	中目黒公園
11月7日(日)	目黒区消費生活展	区民センター

株式会社 佐藤商会



「みんなが同じ事をするのはおかしいわけだから...まず、自分が元気になる事ができて、自分の企業の雇用が安定して、そして地域に目を向ける事ができる。」中国飯店の老舗「代官山花壇」、美肌薬膳火鍋「笑龍」などを経営するURBAN RESORTグループの佐藤與治会長は冷静に語られます。昭和13年、先代の石炭販売店から始まりその後、多くの事業展開を果して来た佐藤商会は今年創業72年を迎えました。幾多もの厳しい事業環境をくぐり抜け、ピンチをチャンスとして捉え、激動する環境に常に柔軟かつダイナミックに対応し、「商品・サービス」の創造と提供には常に積極的にチャレンジしてきたそうです。時代に即して、ガソリンスタンド、オートバックス、「TSUTAYA」FC店、不動産事業、近年、いくつも開店したレンタルフォトスタジオは芸能界・出版界でも多く利用され、その事業の多角的展開には目を見張るばかりです。

佐藤氏は東京商工会議所目黒支部会長、目黒観光まちづくり協会会長、目黒ロータリークラブなどで活躍されており、企業として地域にどのようにかかわってゆけるのかを考えているとのことのお話でした。しいの実社などの障害者施設での商品はやはり一般の販売競争の激しい消費社会では見劣りしてしまう、どのように消費者のニーズに合わせて展開する事ができるのか、それらを企業経営の目線から厳しく、率直に、温かく助言してくださいました。「障害者も、周りの地域社会の人も皆それぞれの役割、得意を活かして自分のできる事をまずしてゆく...常に創意工夫をし、失敗を恐れず挑戦し、計画を必ず実現してゆく決意を持って生きる。」その力強さにとっても励まされる思いをしました。

CHINESE RESTAURANT 花壇 笑龍

島崎屋金物店(ハンズスクエア・シマザキヤ)

創業明治元年。祐天寺駅前マクドナルドを左手に通り返けた祐天寺昭和通り商店会に島崎商店はあります。間口の広い店先には所狭しと日用品が並び、明治の開業当初の様子を偲ばせます。(当時の写真より)

代々、祐天寺地元で金物店を営む島崎社長は、土と自然に溢れる明治、大正、昭和時代の祐天寺周辺の写真を載せた冊子を見ながら説明をしてくださいました。農家で使う道具、米、酒、お鍋など食料から日用品に至るまでなんでも取り扱う、まさに地元に着した地元のお店です。

近年は小中学校、障害者施設、高齢者施設の設備、備品などで多くの施設に納品しているそうです。清掃のポリッシャー、資材、給食用の大きな木のへら、というようなものまで...要望に答えて俊敏に丁寧に対応。とにかく小回りが利く事がつながっているのでしょうか、とのことのお話。



『しいの実社』とは?—実は『さくら作業所』が開所した時からのお付き合い。先代の社長が商店会の会長をしていて、商店会での協力体制の他、トイレトーパーや作業に使う資材の納入などで直接お付き合いがあったそうです。「目黒本町に移転してからは日常的に利用者の方々にお会いすることはなくなりましたがね、今でも『しいの実社』には日用品を納入して、6月の「スマイルプラザ」の開所時に設備設置などにかかわっているんですよ。」—意外な所でたくさんご協力いただいているようです。日常生活での自然な関わり、見守り。地域の中で暮らす障害者にとっては心強い限りです。

有限会社 目黒金属商会



非鉄金属のスクラップを扱う目黒金属商会の加藤義実社長を、東山の本社にお訪ねしました。工場の製造過程で鉄、アルミ、銅、真鍮などのスクラップ材料が出てきます。それらは、また鉄やアルミ等にリサイクルされます。堅そうなお名前でも私たちにとても身近なお仕事です。今は「缶」の回収を目黒区からの委託を受けて、アルミ缶と鉄缶に分け、プレスします。そして、アルミは大半が自動車部品やアルミ缶にリサイクルされます。

もえぎの会も法人化する前には町会などのご協力を得て、アルミ缶回収の仕事をしていただいていたことを思い出しました。それと同じように、目黒金属商会にも毎週、上目黒福祉工房の利用者のみなさんが回収品を持ってこられるそうです。

青葉台にある作業現場にお邪魔しました。たくさんの缶が分別されていきますが、なかなかご苦労がおります。例えば、缶以外の混入物を取り除く際に、残念な話ですが、ほとんどが缶の中が洗われていないために、消毒作業までしていらっしゃるのです。みなさん、飲んだ後は、必ず洗ってリサイクル！お願いいたします。大変な中でもそういう仕事に携わっているのはありがたいことだとおっしゃる加藤社長です。

昭和26年に先代のお父様が青葉台で商売を始められ、今は三代目の息子さんが後を継いでいらっしゃいます。その息子さんをはじめ、会社ぐるみで積極的に活動されているのが「新上六町会」の町会活動です。近隣のお祭りで最初に模擬店を出されたのもこの町会だそうです。加藤社長自身が大好きで、賛同された界隈の若い(?)50代、6代のおとうさん、おかあさんが喜んでお手伝いして下さるそうです。揃いのエプロンやバンダナで、目黒川の桜祭りには2日間で140名以上のお手伝いがいらっしゃるのか。「手伝って…じゃなくて、遊びに来てよ、のスタンスで気軽に参加してもらっています。また、男同士のかかわりを作るためには『一杯飲む会』を年に何回かやっています。70代でも青年に誘われて、非常に元気です！」ご近所や地域の絆が取り沙汰されている昨今、とてもうらやましいお話です。それもこれも、「騒音などでご不便かけており、少しでも地域に貢献できればと、積極的に町会活動をやらせていただいています。」とのお話でした。どの町会にも、いてくださったらうれしいお人柄の加藤社長でした。



アルミ缶の選別

これからもご活躍をお祈りいたします。貴重なお時間をありがとうございました。

新規後援会員をご紹介ください

年会費 1口1,000円 個人会員 1口以上、法人会員 10口以上

会費はお手数ですが、直接お持ちいただくか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

口座名義 もえぎの会後援会

沙羅の家

いよいよ5年目になりました！

世話人 長谷茂雄

2006年8月目黒区南に開所した沙羅の家ですが早いもので9月で5年目に突入しました。

30代の利用者の方たちでスタートしました沙羅の家も今年はいよいよ40代に突入する方がいて歳月の流れを実感しているところです。5年目ともなると利用者の皆さんは沙羅の家での生活にすっかり慣れ、大きな変化もないので現在は安定した日々を送ることができています。

今後もしの実社と連携して利用者の方が安定した生活を築けるように運営していきたいと思えます。

調理の手伝い



読書風景



誕生日会

(メッセージカード贈呈)



例大祭@南一丁目

9月18日に沙羅の家のある南一丁目の例大祭に参加してきました。昨年は威勢のよい御神輿に圧倒されてしまい遠巻きに眺めているだけでしたが、今年は半纏をお借りしてお守りも身につけて御神輿担ぎに参加させていただきました。町会長さんや青年部の方々からも温かい声をかけていただき楽しい時間が過ごすことができました。



編集後記

夏祭りの時期も終わり、秋の気配が濃くなりました。季節の変わり目で疲れも出る時期ですが、皆さまご自愛ください。

これからの実社にとっては、販売やしいの実社祭などイベントの多い季節となります。皆さまぜひ遊びにいらしてください。

(岡田なおこ)

発行: 社会福祉法人もえぎの会

住所: 目黒区目黒本町2-7-3

(法人本部) 電話: 03-5724-7153

e-mail: shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp

http://www.moeginokai.jp/

